

第11回 伊勢・三河湾の環境と漁業を考える  
—貧酸素水塊の漁業への影響と対策—

共 催：一般社団法人水産海洋学会，愛知県水産試験場，三重県水産研究所  
後 援：愛知県漁業協同組合連合会，三重県漁業協同組合連合会  
日 時：2015年11月14日（土）13：00～17：00  
場 所：名古屋大学野依記念学術交流館 カンファレンスホール  
コンピーナー：宮脇 大，中村元彦（愛知水試），日比野学（愛知県農林水産部水産課）  
畑 直重，羽生和弘，国分秀樹（三重水研）

総合司会：宮脇 大（愛知水試）  
挨拶：和田時夫（一般社団法人水産海洋学会長） 13：00～13：10  
趣旨説明：中村元彦（愛知水試） 13：10～13：20

- 【テーマ1】 貧酸素水塊の漁業への影響 座 長：国分秀樹（三重水研）
1. 伊勢湾西部における貧酸素水塊と浅海水産資源 13：20～13：45  
羽生 和弘（三重水研）
  2. 伊勢湾における貧酸素水塊と底生生物資源 13：45～14：10  
下村友希子（愛知水試）
  3. 三河湾における貧酸素水塊と底生生物資源の時空間変動 14：10～14：35  
曾根 亮太（愛知水試）  
—休 憩— 14：35～14：45

- 【テーマ2】 貧酸素水塊への対応 座 長：宮脇 大（愛知水試）
4. 伊勢湾の底びき網漁業における漁具改良について 14：45～15：10  
澤田 知希（愛知水試）
  5. 三河湾奥部の干潟・浅場における貧酸素水塊・苦潮による生態系被害とその回避策の検討  
和久 光靖（愛知水試） 15：10～15：35
  6. 河川流量が内湾の栄養塩，赤潮，溶存酸素に与える影響 15：35～16：00  
児玉 真史（国際農研セ）

【総合討論】 課題と対策の整理  
座 長：中村元彦（愛知水試） 16：00～17：00

開催趣旨：伊勢・三河湾では，栄養塩の負荷削減が進められているにもかかわらず，毎年のように夏季を中心に大規模な貧酸素水塊が形成され，底びき網漁業や採貝漁業等に脅威を与えている。干潟・浅場の造成については全国に先駆けて事業が実施され，造成区では水質浄化機能および水産資源の回復が報告されているが，広域的な環境改善効果は明確ではなく，湾全体の貧酸素水塊発生の抑制は道半ばである。全湾の環境改善には干潟・浅場の造成とともに，港湾も含めた環境悪化水域の解消が必要であることが明らかとなっている。また，漁業の側では，貧酸素水塊に追われたさまざまな種や大きさの底生生物資源が狭い海域に分布することで増大している小型魚混獲の問題を解決するために，漁具改良等が検討されている。その一方で，湾内の環境に更なる影響を与えかねない沿岸開発も計画されている。今回の地域研究集会では，改めて貧酸素水塊が各漁業に与える影響を整理するとともに，これに対処するための方策を多角的に検討し，今後取り組むべき方策を展望する。